

2006年12月12日  
藤沢紙工株式会社  
管理部

RE：慶應義塾大学（SFC）デザイン言語ワークショップへの参加報告

2006年12月2日、慶應義塾大学環境情報学部のデザイン言語ワークショップ A に、当社の取締役  
管理部長 荒川潤 他3名が参加致しました。

今回のワークショップは、田中浩也講師（慶應義塾大学環境情報学部）と佐々木一晋講師（東京  
大学大学院生産技術研究所）の合同形式にて開催され、100分間の講義時間内において、『日  
常の体験を写真で記録する』ように、「ある行為・振る舞いの瞬間」を3次的に記録化（パ  
ッケージ）する』という課題に取り組みました。

当該ワークショップの佐々木講師は、『地元企業と連携を図ることで、現代のデザインの枠組を産業  
システムとの連関の中で多角的に（広義に）洞察していく機会を学生達に提供していきたい。』  
というお考えをお持ちであり、06年6月における同大学デザイン言語ワークショップに引続き、再度当社  
にお声を掛けて頂いた次第です。

今回のデザイン言語ワークショップ A（課題作成）のテーマは、「現代におけるパッケージのあり方を身体  
と物事との関係（＝対象関係の包摂）という観点から再考する」というもの。パッケージ＝  
梱包・包装と狭義に定義するのではなく、人の「行為」「動作」「様子」をパッケージすること  
で、パッケージの再定義を試みることを主眼としています。

当社は、今回のワークショップに必要な資材（段ボールシート、エアキャップ、OPPテープ、クラフトテープ等）を  
提供し、学生と共に課題の製作・発表を行いました。2006年12月2日のデザイン言語ワークショ  
ップの課題作成の様子は、次ページ以降に掲載します。

藤沢紙工株式会社では、今後とも「地域社会への貢献」や「新しい経験や知識の蓄積」を  
全社的に推進してゆく所存です。これらの取組みに関してご意見・ご質問等がある方は、  
下記までご連絡下さい。

藤沢紙工株式会社 管理部 川見・高橋  
TEL：0467-58-2600 FAX：0467-58-2607  
E-mail：[admi@fujikoo.co.jp](mailto:admi@fujikoo.co.jp)

【2006年12月2日のデザイン言語ワークショップ】

1) 課題の製作風景



パッケージする「行為・振る舞いの瞬間」を選定した後、その「外形」を段ボールに描く。

2) 課題の製作風景



切り取った外形をそれぞれ組み合わせ、3次元へ立体化させている過程。

3) 課題の制作風景



人の動きを3つの瞬間に分割し、パッケージした作品の製作過程。

4) 課題の制作風景



幼児を抱く女性のパッケージにマフラーを使い、様々な意味を持たせようとした作品の製作過程。

5) 作品の発表



人が腹筋する瞬間をパッケージした作品。起き上がる際に下敷部分が上に持ち上がる。

6) 作品の発表



スカイディングをしている瞬間をパッケージした作品。風圧を受ける様子までデザインされている。